

9月の分散登校時におけるオンライン学習に関するアンケート調査結果について

1 主旨

令和3年9月3日から10日の分散登校期間中に実施したオンライン学習の効果を検証し、今後のオンライン学習やICTを活用した教育を充実させるため、児童・生徒、教員及び保護者を対象にオンラインによる意識調査を10月に実施したので報告する。

2 分散登校時のオンライン学習の概要

(1) オンライン学習の日程

令和3年9月3日（金）から10日（金）までの6日間

(2) オンライン学習の主な内容

①T e a m s やZ o o mによる授業のライブ配信

②ロイノートによる双方向のやりとり

③Q u b e n aによるドリル学習

(3) オンライン学習の様子



朝の会での校長講話



オンライン学習 児童への説明



オンライン環境の提供

3 アンケート調査の概要

(1) 調査手法

児童・生徒、教員、保護者それぞれに対するオンライン学習に関する質問について、オンラインのアンケートフォームへ入力する手法で回答する形式とした。

(2) 調査期間

令和3年10月5日（火）から10月15日（金）まで（児童・生徒は29日まで）

(3) 回答者数

①児童・生徒 42,825人

②教員 2,004人

③保護者 14,378人

4 アンケートの質問と調査結果

(1) 質問内容

児童・生徒、教員、保護者それぞれに、「オンライン授業でよかったこと」「オンライン授業で困ったこと」「今後オンライン授業に期待すること」について、予め設定した選択肢の中から当てはまる項目を選ぶ（複数回答可）形式で実施した。また、自由意見欄も設け、その他気付いたことを記載できるようにした。

(2) 調査結果等

①調査結果

別紙「オンライン学習に関するアンケート調査の結果について」による

②成果と課題

児童・生徒、教員、保護者のアンケートから、コロナウィルスの不安がなく安心して学べたことを評価する声が多かった。また、i P a dの操作にはあまり不安なくオンライン学習に取り組んでいることも分かった。

一方で、映像や音声途切れた場面が多く見られており、環境設定や機器の整備が必要である。また、教員や保護者からは、質問や発言、学び合いの機会の確保や一人ひとりの学習状況の丁寧な把握が求められており、引き続き教員のICT活用指導スキルの向上、児童・生徒の考えや学習状況を適切に把握することが必要である。